

姫路市 ・ スマート市民農園事業

背景

- ・2030年までに農産物需要は**1.5倍**に増加の予想
- ・地球温暖化をはじめとする、地球環境問題の深刻化

現状の課題

データやIoT機器を活用した農業の重要性

- ・農業分野のICT人材不足
- ・農業を意識したプログラミング教育がない

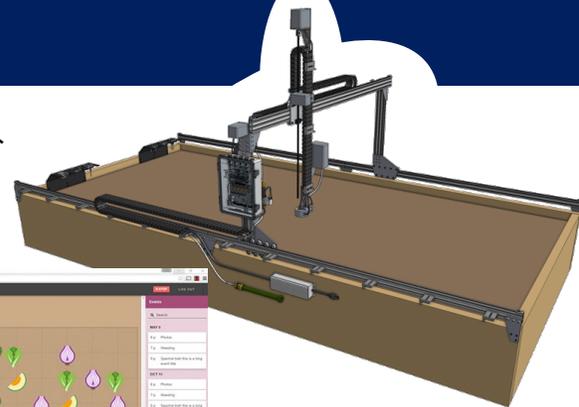
事業の目的

**農業分野における
デジタル人材の育成**

これまでの取組

- ・農業用ロボット『Farmbot』^{ファームボット}を書写養護学校に設置
→中学部生徒へ農業版STEAM教育を提供（実証事業）
- ・アグリテック甲子園2021プレイベント（講演会・アイデアソン）を、
令和3年8月21日に完全オンラインで実施
- ・アグリテック甲子園2021を令和4年1月30日にハイブリッド方式で実施
→全国から高校生・大学生の6チームが参加し、「テクノロジーを駆使し、
農業にイノベーションをもたらすアイデアを！」をテーマにアイデアを発表。
企業版ふるさと納税をいただいた企業のイベントへの参加
（会場での展示・審査員・企業賞の提供等）

農業用ロボット
Farmbot



- ・P Cから遠隔操作可能
- ・ハード&O S共オープンソース

書写養護学校に
設置のファームボット →
遠隔操作による
水やりの様子



アグリテック甲子園2021
←発表する学生の様子
2022.1.30開催

姫路市 ・ スマート市民農園事業



事業
内容

①農業版STEAM教育事業

②アグリテック甲子園事業

③スマート市民農園事業



事業期間 令和2年～令和6年
事業費 1億3千万円（5年間）

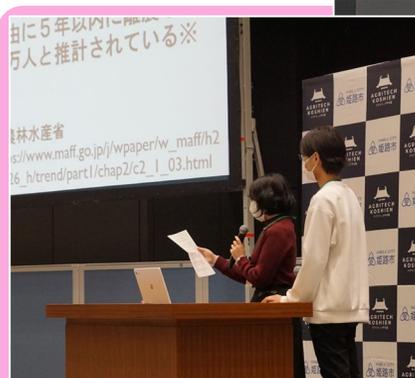
○成果・目標

農業分野のデジタル人材育成

- ・農業分野のイノベーション創出
- ・重度身体障がい者の**農福連携**

得られる
成果等

地方創生推進交付金事業
「**ハーブの里山プロジェクト**」と連携し、
ハーブの摘み取りロボットを開発中



アグリテック甲子園2021の様子 2022.1.30開催



○企業の皆様をお願いしたいこと

- ・企業版ふるさと納税
- ・農業版STEAM教育事業拡大への支援
- ・アグリテック甲子園-R5.1.22開催予定-への協賛
（企業賞の提供など。）

○企業のメリット

- ・農業DXの推進による社会貢献
- ・イノベーション人材とのマッチング
- ・SDGs達成への貢献のPR
- ・アグリテック甲子園での企業アピール



【連絡先】 姫路市 産業局 農政総務課：柿本、藤井
(Tel079-221-2476, メール noseisomu@city.himeji.lg.jp)